

全国各地から応援メッセージ

「T.O.S.S五色百人一首協会」は、全国各地都道府県の小学校の教師が、「元で五色百人一首の大会を開こう」という目的で集まり、結成されました。日本各地で五色百人一首大会を開催して参りました。教師がボランティアでゼロから始め、少しずつ皆様に大会のことを知っていただき、お力添えを得て、一つ一つ、と大会開催が実現していききました。創設された1999年度には全国で12箇所の大会が開かれました。翌2000年には京都府の高台寺大会等、23カ所、2001年は、福岡・太宰府天満宮、奈良・薬師寺、長崎・出島、群馬・達磨寺、東京・寛永寺など28カ所、100人規模の大会が開催されました。

2004年度は宮城県、福島県、近畿地区、兵庫県、千葉県、福井県、大分県、新潟県、富山県が第1回大会を開催し、全国で50カ所以上の大会が開催されることになりました。2009年、協会結成から10年で、日本国中の全都道府県での大会開催が実現しました。この間、さまざまな方々のお力添えをいただいていたように思います。協会の次の目標は全国大会開催です。その大切な、いちステップである今回の「プレ全国大会」に寄せ、各方面からたくさんの方々のメッセージをいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございます。

元文部科学大臣

塩谷立 衆議院議員

天野一 静岡県議会議員

小坂憲次 参議院議員

林久美子 参議院議員

団体戦59チーム 日本一は、「奈良」

団体戦とは、五人一組になって争うチーム戦。青、黄、緑、桃、橙色のそれぞれの札をひとりずつ担当します。3勝したチームが勝ちというルールです。見事、優勝した日本一に輝いたのは、奈良県のチーム「アيسキャンディーズ」。黄色いユニフォームを着た選手達が、次々と勝ちあがっていったたびに、会場が大きくわきあがりました。準優勝は、兵庫県のチーム「ヒコヒコ」のこ。惜しくも決勝で敗れたものの、3対2と最後までがんばりました。3位には、同じく兵庫県のチーム「天つ風」と栃木県のチーム「チーム美野沢・栃木」。遠く栃木から駆けつけた応援団の大きな横断幕は注目を集めていました。

優勝 アイスキャンディーズ(奈良)

2位 ヒコヒコのこ(兵庫)
赤澤和・松本春香・細川由希奈・細川満里奈・幸田実紅

3位 天つ風(兵庫)
山本実奈・垣本和子・小笠原萌葉・小澤風彩・小笠原澤葉

3位 チーム美野沢・栃木(栃木)
原田耀郎・竹内雄吹・藤澤弘明・竹内彩花・東根愛久美

坂本菜摘・山口優花・井上広大・鈴木さわな・井上七海



▲負けて泣き崩れる子どもたち



▲仲間に思いを託す子どもたち



白熱の個人戦！ 300人の頂点にたつのは誰だ！

日本各地で繰り広げられた予選を勝ち抜き、プレ全国大会に参加した子ども達。100人以上の予選を突破し、決勝トーナメントにすすみます。さらに決勝トーナメントを決勝まで勝ち進まなければなりません。参加する子ども達もさることながら、応援する保護者、審判やスタッフも緊張が目に見えます。勝つて喜ぶ子、負けて悔し泣きする子、たくさんさんのドラマや名勝負がありました。



五色百人一首リニューアルしました!!

大好評の定番教材「五色百人一首」をリニューアルしました！札のデザインはそのままに、箱を改良して取り出しやすくなり、手引書も児童用と教師用に分けました。

1 箱があげやすく、札がとりだしやすくなりました

外箱・内箱に切りかけを入れて札を取り出しやすくなりました！

2 手引書が児童用と教師用に分かれた

教師用の手引書は全面改訂して、指導方法を掲載し、児童用にはルールと色別に百首一覧を掲載しています。単品でも販売しています。

※「取り出し」1箱毎に児童用手引書1冊1冊付属
※「読み札」1箱毎に教師用手引書1冊1冊付属

礼を従来の縦ではなく横に入れるようにして、しやすくになりました！



五色百人一首

T.O.S.S五色百人一首協会

全国の教室・家庭でも活用されているサイト
T.O.S.Sランド

『五色百人一首』とは

プレ全国五色百人一首大会

『東日本震災復興支援イベント』

盛会御礼新聞



京都武徳殿

『五色百人一首』とは

日本の伝統文化を伝える教材
五色百人一首は百人一首を二十枚ずつ五色に色分けした教材です。このため一試合、約三分間で決着がつけます。子ども達は五色百人一首に熱中し、楽しみながら百人一首を覚えることができます。また試合を繰り返すうちにルールが身につきます。だから自然とクラスがまとまります。五色百人一首を行うクラスは男女みんなが仲良しです。どの子も自信を持って学校生活を送るようになります。

子どもが変わる！子どもが変わるとクラスがまとまる！

五色百人一首をするクラスは秩序と連帯感が生まれます。一色あたり二〇枚なので、一試合三分でできます。だから、学校の空き時間、休み時間、朝・帰りの時間などでできます。試合を繰り返すうちに、子ども達の集中時間が飛躍的に伸びます。試合に勝つために練習する姿を見て、保護者は衝撃を受けます。一あの子がこんなに一つのことに熱中する姿を初めて見ました。



主催：五色百人一首協会

現地事務局：

NPO 法人京都子どもネット

後援： 京都市
京都市教育委員会
三重県教育委員会
京都府教育委員会
兵庫県教育委員会
香川県教育委員会
高知県教育委員会

この大会は、子どもたちに日本の伝統文化を体験し、成長する場を提供するためにすべてボランティアで運営されています。運営にかかる費用は、地元の方々からの協賛金が充てられています。

北は福島県、南は沖縄県からも参加 一〇〇〇名の参加者で大盛況！

はじめて開催された「プレ全国五色百人一首大会」には、日本全国各地20の都道府県からご参加いただきました。

沖縄県、鹿児島県、宮崎県、熊本県、山口県、岡山県、広島県、鳥取県、高知県、香川県、兵庫県、奈良県、大阪府、京都府、三重県、静岡県、神奈川県、東京都、栃木県、そして福島県。

子ども およそ300人
保護者 およそ600人
スタッフ およそ100人
福島県から参加したチームの紹介にあたたかい拍手が送られました。



▲チーム福島の子供たち



来賓挨拶① 京都大学副学長 西阪 昇



プレ全国五色百人一首大会が、ここ古い都の京都で開催されましたことを心からお喜び申し上げます。

また、全国から各都道府県の代表として参加された選手の皆様、全国大会に参加するという心からお祝いしたいと思います。小学生と中学生とかのスポーツの大会は、結構いろんなものが全国でありますけれども、なかなか文化的な催しの全国大会というのは少ないのです。

今回このような形で、スポーツではない分野でがんばっているみなさんが、その力を競うことができるのは、大変素晴らしいことだと思います。

特に、百人一首というのは、わが国日本の伝統文化のひとつです。それを、皆さん方が勉強されて競いあうということは本当に素晴らしいことだと思います。

これからの大会で、日頃それぞれの学校や地域で鍛えた力を思う存分発揮していただきたいと思っています。

このような素晴らしい大会が実現できるのもTOS（トス）という学校の先生方の団体がそれぞれの都道府県の大会、あるいはこの全国大会、全てボランティアで企画して、準備して、運営していただいているおかげです。

そのような先生方の取り組みによって今日のような素晴らしい大会が実現できたというのをみなさまに、ぜひ知っていただければと思います。これから行われるプレ全国大会で、日頃の力を全力で発揮していただきたいと思っています。それではみなさん、がんばってください。

来賓挨拶② 京都市長 門川 大作

「五色百人一首プレ全国大会」がここ京都で盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、本日全国からお集まりいただいたTOS五色百人一首協会の皆様、小中学生の皆様、ようこそ京都へ起こしくございました。147万人の京都市民と共に心から歓迎いたします。

TOS五色百人一首協会の皆さんにおかれましては、「日本の子どもたちに、学校や地域の中で、日本の伝統文化である百人一首の楽しさを伝え、普及する」という崇高な理念の下、平成11年の設立以来、全国47都道府県で大会を開催されるなど、その熱意溢れるお取組に、深く敬意を表します。私も京都大会を拝見させていただいた際には、子どもたちの真剣な眼差し、仲間の勝利に喜ぶ姿や、わずか一枚の差で負け悔しがらる姿にとても感動させていただきました。本大会を通じて、高い志で結ばれる皆様の交流が一層深まり、「全国大会」の実現に向けて、日本文化・百人一首を愛する行動の輪が更に大きく広がりますことを心から願っています。小中学生の皆様、本日は優勝を目指して頑張ってください！

当日は、京都市教育委員会 教育政策
監 生田義久 様が、門川大作京都市
長代理でメッセージを読まれました。



かどかわ だいさく
門川 大作

平成24年1月22日
京都市長 門川大作